



## 新技術概要説明資料 (2/5)

新技術名称

面状発熱体スライドセントル加温養生システム

登録No.

1843

(特 徴)

(長 所)

①制御盤により面状発熱体の温度設定が可能であるため施工性が向上する。  
 ②石油燃料を使用しないため火災発生リスクが低減し安全性が向上する。③石油燃料をしないためCO<sub>2</sub>の発生がなくなり作業環境が向上する。

(短 所) システム費用が発生する。

(施工方法)

1. 面状発熱体をセントル外板裏面に取り付ける
2. 現場でセントルを組み立てる
3. 制御盤を取り付け配線する
4. コンクリート打設時より加温養生を開始する
5. セントル脱型までの16～18時間加温養生を行う
6. 面状発熱体の電源を切った後セントルを脱型する

(施工単価等)

1(1). 歩掛りあり (標準)    1(2). 歩掛りあり (暫定)    2. 歩掛りなし

1 (2)

掲載刊行物

建設物価 ( 無 )    掲載品目 ( )

積算資料 ( 無 )    掲載品目 ( )

その他 (カタログなど)

( )

&lt;施工条件&gt;

道路トンネル：2車線 60m<sup>2</sup>

施工場所：石川県加賀市

施工延長：1000m

打設長：10.5m/回

打設回数：1000m/10.5=96回 3回/週

加温時間：16～18時間

積算資料等

添付資料①積算資料

施工管理基準資料等

添付資料②管理基準

## 新技術概要説明資料（3 / 5）

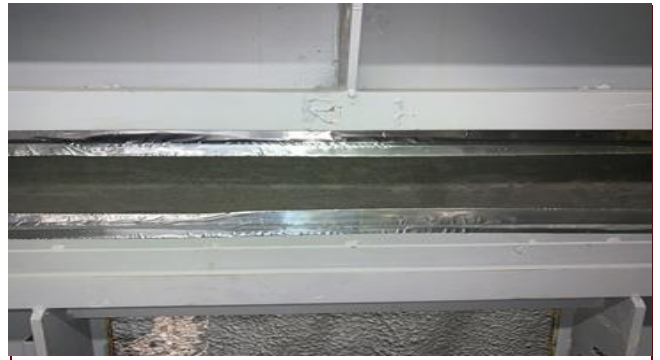
新技術名称	面状発熱体スライドセントル加温養生システム		登録No.	1843
(適用条件)				
(適用できる条件) ①面状発熱体の電源200Vが確保できる②可燃性ガスの発生しない現場				
(適用できない条件) ①面状発熱体の電源200Vが確保できない②可燃性ガスが発生する現場				
(設計上の留意点)				
トンネルの内空断面、セントル長に応じた面状発熱体の数量及び配置を検討する。				
(施工上・使用上の留意点)				
制御盤及び面状発熱体に、妻板等の洗浄水がかからないようにすること。				
(残された課題と今後の開発計画)				
特になし				
(実験等作業状況)				
室内実験により、面状発熱体の加温効果が確認できた。				
(添付資料)				
実験資料等				
添付資料③面状発熱体加温試験				
その他				
特許	<input type="checkbox"/> 1. 有り (番号: ) <input type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 無し			番号
実用新案	<input type="checkbox"/> 1. 有り (番号: ) <input type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 無し			特許番号
				番号
				新案番号
評価・証明	建設技術評価制度番号	民間開発建設技術の審査証明番号		
	証明年月日	証明年月日		
	制度等の名称	証明機関		
	制度等の名称	制度等の名称		
その他の制度等による証明	制度名、番号	制度名、番号		
	証明年月日	証明年月日		
	証明機関	証明機関		
	証明範囲	証明範囲		



新技術名称	面状発熱体スライドセントル加温養生システム	登録No. 1843
-------	-----------------------	------------



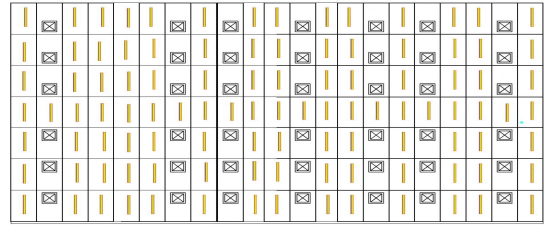
面状発熱体制御盤



面状発熱体取付状況



スライドセントル外観



面状発熱体配置図



面状発熱体W140×L1300

